	No. <mark>28 —</mark>	1 基本事務事業	法定 法定	≧外公共特	物管理事務		事務事業	美名 法定	定外公共物管	理事務	公白	的関与 4	シート作成日	令和6年	6月3日
	部局名	3	建設部		課名		建設護	₽	主務課長	名	大石	憲司	シート作成者名	野_	L 芳幸
	市米区八	○ 1 ソフト事	業	0	3 経常的事	務事為	集	5 補助:	金•負担金•支	援	** 'E & -	_ _{->+} 🗹 1	直営	3 全	部委託
	事業区分	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維	持管理	里〇	6 内部	管理事務・その	の他	業運営ス	万法 2	2 一部委託	□ 4 補	動等
		基本構想(政策	〔100 100 100 100 100 100 100 100 100 100						実施計画			事	業の開始・終⁻	<u> </u>	
	総合計画	基本計画(施)	〔					0	1 該当	수	和	年 ~	令和 年	☑期間	設定なし
		主要施策						0	2 非該当	ħ	艮拠法令	等 阿波市	市法定外公共用與	材産管理条	:例
		対象(誰た	道路法	並びに河川	川法に規定さ	れてい	ない道路	、水路等	の用地を使用	する者					
		目的(どうい i う状態にし -	最終的		産(赤線、青糸 図っています		った法定	外公共物	かが市に移管さ	れて以降	、法定外	公共物の管理	理に関する条例で	上制定し管理	理及び負担の
PL			今年度	適正な	維持管理を引	き続き	行います。	0							
A		具体的にどの													
N		① 境界立会の													
	事業の	② 境界確定書	書締結に	より確定し	した道路・水罩	各等につ	ついて、用	途廃止	申請書の提出る	を受け、用	途廃止後	とに契約管財	課へ普通財産と	して引き継	ぎます。
	活動内容	③ 境界確定書	締結によ	り確定した	道路・水路等Ⅰ	こついて	、敷地を占	i用しよう。	とする者及び工業	事施工する	者に申請る	を義務付け管理	理基準の範囲内で	許可を承認	しています。
			5用者か	ら条例に	基づき使用料	(一般)	財源)を徴	収するこ	とで、利用と負	担の公平	を図りま	す。			
		5													
		指標名		大算代	スは指標設定	理由	単位		令和 4	年度	令利	0 5 年度	令和 6	年度	最終目標
	数値目標	境界立会件数					Į	目標						50	
	(事業の目的	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						実績		77			52		
	及び活動内	用途廃止件数						目標						5	
	谷の達成度	用些廃止 IT 数						実績		14			6		
	を測る指標)						Į	目標							
								実績							
	予算費目	会計					款			項			目		
			令	和	4 年度	夬算	令和	5	年度決算	令和	6	年度予算	算	備考	
		国庫支出	金			千円			千円			Ŧ	-円		
			金			千円			千円				-円		
	直接事業費		債			千円			千円			Ŧ	- 円		
D	但按书本具	その他特定財	源			千円			千円			Ŧ	-円		
0			源			千円			千円			Ŧ	-円		
		計(A)			C	千円			0 千円			0 ₹	- 円		
		正職員工数·経	費 0.	500 人	3,021	千円	0.500	人	3,030 千円	0.500	人	2,976 ₹	<u>-円</u>		
	人件費(B)	会計年度任用職員職	種												
		会計年度任用職員工数:	経費	人	(千円	. <u> </u>	人	0 千円		人	<u>0</u> 1	-円		
	全体事業	業費(A+B)			3.021	千円			3.030 千円			2.976 ∓	-円		

			チェック項目		一岁	次評価	_	次評価の記	说明		二次	評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	● 大きい	いて、管理	けた道路・水 里上の占用ス	び使用に	0	少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	. 0	ない	ある	対する許可	可制は必要	です。	0	ない	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない				0	ある	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない				0	いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	● いえる	管理と利用す。	用者負担を明	月確にしま	0	いえない	● いえる
	有効	2. 4	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	● いえる	, ,			0	いえない	● いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない				0	する	● しない
E		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	◎ できる				0	できない	◎ できる
CHECK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に比	べて劣っている	受益者負 す。	担の適正化	に努めま	0	目標に比り	べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上た	がっていない	7 0			0	あまり上が	っていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	0	概ね達成	tしている				0	概ね達成し	している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達成	戈している				0	十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	◎ 適当		地元管理とは地元、原本		0	高い	● 適当
	効率	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない		いりな修繕は		0	できる	● できない
	性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	● ない	大 の Cい	ତ ି		0	ある	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない				0	ある	● ない
			一次評価					二次				
	評值	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合計 4 4 3 4 A	' 価	:	必要性 ⁷ 4	<u>有効性</u> 4	<u>達成度</u> 4	効率	生	総	<mark>合評価</mark> A
		 後の	○ 拡大·充実 ● 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委	托等	0		● 現状) 方法改	善	〇 民間	
A	方向	<u> </u>	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止		C	112 -	統合/終		廃止/休			
ACTIO		面の	受益に対する負担の公平性を図るため、管理と負担の適正化を行いる 人員・事務内容の関係で、維持管理(境界管理)について関係課と調整が す。					指摘事項及				<u>į</u>
N	اع		受益者負担の適正化を図るため国等の道路占用料制度の動向を把 料の改訂に合わせて見直しを行います。維持管理(境界管理)について、 進めます。		占用┃ ^	文革案、実行計	四に行うだ	旭止仏事果	天心を進め	より 。		
		員会 第 項										

_																
	No. 28 —	2 基本事務事	業名道	路台帳整個	備事務	事	務事業	名 道路	各台帳整備事	務		公的関与	1 :	シート作成日	令和6年	6月10日
	部局名		建設部	3	課名		建設課		主務課長	名	大礼	5 憲司	シ	ート作成者名	大久	.保 武杜
	車業区八	● 1 ソフト	事業	0	3 経常的事	務事業	<u> </u>	補助金	金・負担金・支	援	中来温	学士法	<u> </u>	直営	☑ 3 슄	≧部委託
	事業区分	O 2 11-15	事業	0	4 施設の維持	寺管理	0 6	内部管	管理事務・その	の他	尹 耒理	営方法	<u> </u>	一部委託	□ 4 前	助等
		基本構想(政	(策) 5.	明日への	基盤が整った	-阿波			実施計画				事	業の開始・終了	•	
	総合計画)道路•公	共交通の充実			0	1 該当	•	令和	年	~ 4	令和 年	☑期間	設定なし
		主要施策	Ę					O	2 非該当		根拠流	去 令等				
		対象(誰を、 何を)	道路台													
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	電子化す	ることにより統	合型GI	ISの基盤	データに	こ利用すること	で、今後	の行政	内部のIC	T環境に	こ役立てます。		
PLAN		たいのか)	今年度	令和5年原	度に竣工した道	路改良	見部分を電	算化し	ます。							
A		具体的にどの					5つまで)								
N					年度改良部分)										
	事業の	② 道路台帳		備(令和5年	度改良部分)											
	活動内容	③ 路線の見	直し													
		4 未登記道	路の登記	記事務												
		5		_			_									
			<u>各</u>		スは指標設定理		単位		令和 4	年度	-	令和 5	年度	令和 6	年度	最終目標
	数値目標	_			のため指標設	定		目標_								
	(事業の目的			になじまた	よいため			<u>実績</u>								
	及び活動内							<u>目標</u>								
	容の達成度 を測る指標)							<u>実績</u>								
								<u>目標</u>								
	マ体曲口	会 計		<u>」</u> 一般	스티			実績 3 土オ	<u> </u> - 弗	Į	5 0	`关 ID +呑 □	. : 曲		ゝ 乂 □ね ѵ⊬ +	+ 典
	予算費目	会 計				告	一 <u> 款 ₹</u> 令和		<u>)</u> 年度決算	令和		道路橋り	ょつ食 度予算	目 1	道路維持 備考	寸貸
		国庫支出		<u>ን </u>	4 年度決	好 千円	77 141	5	<u> </u>	ጉ ተሀ		6 年	<u>支 ア 昇</u> 千円		1佣/与	
		県 支 出	金			千円			千円				<u>''</u> 千円			
		<u> </u>				千円			<u> </u>					_		
D	直接事業費	その他特定則				千円			<u> </u>				 千円	_		
O		一般財	源	_	5,940				6,160 千円			6.3	325 千円	_		
		計(A)	773		5,940				6,160 千円				325 千円	_		
		正職員工数·網	経費 0).500 人	3,021		0.500 人		3,030 千円	0.50) 人		976 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員							, -			,				
	, , , , , ,	会計年度任用職員工数	数·経費	人	0	千円	人		0 千円		人		0 千円	9		
	全体事業	業費(A+B)			8.961	千円			9.190 千円			9.3	301 千円	9		

				チェ	ック項目				— 次	(評価		_	·次評価の	が設田	旧		二次	評 価	ī
		1.		はくても、公□	平性・公正性	が確保できる		0 4		● 大き	:11	前年度	の道路改良	良部分	分を電子	0	少ない		大きい
	ıίλ	_				<u>影響は大きく</u>							とで、さらに ムとして、。						
	必要					でする緊急性が		O 10	• •	ある			ができます		とい注氏		ない		ある
	性					方法等の改善の		O a	ある	● ない	1					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサービ			韓自治体と比較	してニーズを	0 ι	いる	● いな	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	、事業内容が	必ずしも適切と	はいえない。	0 ι	ハえない	● いえ	る		理する道路 的確な維			0	いえない	•	いえる
	有	2. 4	事業内容のマンネ	、 リ化など、施策	への貢献度が	害しく高いとはい <i>え</i>	とない。	0 1	ハえない	● いえ	る		かできまっ		- TX(1)	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で舞	類似・重複し	た事務事業が	存在する。	0 3	する	しな	い					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期待	すできない。		0 7	できない	● でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣ってし	いると思う。		0 1	目標に比	べて劣ってし	いる		に竣工したて、翌年度			0	目標に比り	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	けして成果がな	あまり上がっ	ていないと思	<u> </u>	○ <i>t</i> .	あまり上か	「っていない		していまっ		.1-10	电开心	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成して	いると思う。		相	既ね達成	している						•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	して十分に	目標を達成し	ていると思う。)	0 +	十分達成	している						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	, \ ₀			O #	高い	● 適当	á		するまでの 事務につい			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制度	を活用できる。)	0 7	できる	● でき	ない		う努めます		<i>></i> 01 → [0	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手段	と等を見直す余り	地がある。	O 8	ある	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	などにより=	スト削減の余力	地がある。	O 8	ある	● ない						0	ある	•	ない
					7	評価								欠評					
	評値	西点	<u>必要性</u>	有効性 4	達成度		総合評	価	J.	<u>必要性</u> 4		<u>す効性</u> 4	達成度 3	Ę		生	総	合評 A	価
	今後	 後の	-	·		 〕方法改善	○ 民間委託	£等	0	 拡大∙充	 実	● 現場		$\overline{}$	 方法改割	 美	〇民間		 £等
Δ		句性	○縮小	○ 統合/終) 廃止/休止			0			統合/終			廃止/休				
C											二次	評価での	指摘事項	及で	バー次評	価と	の相違点	į	
ACTIO		面の題	■ 道路台帳管: り、複合的に流			で道路以外の情 います。	青報を持たせる	ことに。	<u>ا</u> ا										
ō	11	. KZ	7 X I I I I I I I I I	U/II CC 027	·/—IF/CE	470-76			事業	美の効率化	とを推	進するため	め、毎年実	施し	ている舗	装修	繕区間を	本シス	ステムに
Ň		革案		フテルの雪笛	(レレ) ア(† 5	ミアといえる状態	です 現左 気	在度/	反时				・帳管理シ						
	と9 計	にあ				運用方法の見直													
		<u>□</u> 員会																	
		₹ 事項																	

	No. 28 —	3 基本事務事業名	交诵安全	- 施設等整	· 佐 は は は は は は は は は は は り は り り り り り り	事終事業	と	通安全施設等	整 備 事務	公的関与	4 2	一卜作成日	令和6年	3月10日
	部局名		<u>スルスュ</u> 設部	- //CIIX 1) IE	課名	建設記		主務課長	- 1111	大石 憲司				栄典
		○ 1 ソフト事業		〇 3 経	常的事務事		_	金·負担金·支	坪		☑ 1 億			部委託
	事業区分	② 2 ハード事:			設の維持管			<u> </u>		業運営方法		-部委託		助等
		基本構想(政策)		,,,,,			0 1 146	実施計画				の開始・終了	<u> </u>	, i
	総合計画	基本計画(施策)		·公共交通		<i>"</i> "	0	1 該当	令	和年			☑期間	設定なし
	10 11 11	主要施策			にやさしい道	路空間づ				拠法令等	道路法	15		
		対象(誰た			ール、カーブ					() - ()				
		目的(どうい 最う状態にし	終的 ます。	しの悪い道 。	路等での事	故防止の	ため、区画	画線、ガードレ−	-ル、カー ⁻	ブミラーの新記	役∙補修に。	より交通事故の	発生件数	の低減を図り
PL		たいのか) 今						とな限り交通安	全施設の	整備を行いま	す。			
AN		具体的にどのよ	うな活動を	行います	か。(主なも	の5つま	で)							
N		① 区画線新設												
	事業の	② ガードレール												
	活動内容	③ カーブミラー												
		4 転落防止柵類												
		5 車線分離標準			ᄺᆒᆉᇑᆠ	22/ J.L		A 70 4	<i>-</i> -	A 10 c	<i>-</i>	A 1 = 0	F # 1	
		指標名	計算	式又は指	標設定理由	単位		令和 4	年度	令和 5	年度	令和 6	年度	最終目標
	数値目標	要望箇所施工第	ミ績 が	拖工箇所/弱	要望箇所	%	目標 実績		100% 18/20		100% 14/18		100%	
	(事業の目的 及び活動内								18/20		14/18			
	容の達成度						<u>日保</u> 実績							
	を測る指標)				<u> </u>	<u> </u>	 大順_ 目標						-	
							実績							
	予算費目	会 計	-	一般会計		款	8 土オ	費	項	2 道路橋	りょう費	目 3	道路新設	改良費
			令和		年度決算	令和	5	年度決算	令和		度予算		備考	
		国庫支出金			千円	1		千円			千円			
		県 支 出 金			千円	1		千円			千円]		
	直接事業費	地 方 信	į		千円	1		千円			千円			
D	但按争未負	その他特定財源	Į		千円	1		千円			千円			
0		一般財源	Į		9,472 千円	1		9,619 千円		10	,000 千円			
		計(A)			<mark>9,472</mark> 千円			9,619 千円			<mark>,000</mark> 千円			
		正職員工数·経費	0.500	人	<mark>3,021</mark> 千円	0.500	人	3,030 千円	0.500	人 2	<mark>,976</mark> 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員職種		_						_				
		会計年度任用職員工数·経費		人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円			ļ
	全体事業	業費(A+B)			<mark>12,493</mark> 千円			12,649 千円		12	<mark>,976</mark> 千円			

				エー	ック項目				\ <u></u>	な評価			·次評価 <i>0</i>	/ 言片 ロロ			二次	=示/迅	
		1	古が宝施した			が確保できる	生 他の宝体	_					- <u>次評価0</u> - た設である		ちで宝				
	ι.		主体があり、	事業を廃止・	・休止しても	影響は大きくな	ない。	O 4	少ない	● 大き	い	施しなける	れば公平性			0	少ない	0	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	F度以降実施	する緊急性が認	認められない。	○ ta	il1	ある		ないと思り 4. 要望 <i>t</i>	います。 バ数多くあ	J. =-	-ズの	0	ない	•	ある
	性					方法等の改善の		O .	53	ない			られないと			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			自治体と比較し	してニーズを	O 1,	vる 	いな	(L)					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容が	必ずしも適切と	はいえない。	O 1	えない	● いえ	る	1. 内容に ており適 ¹	は設置指金 切です。	等に準	೬拠し │	0	いえない	•	いえる
	有	2. 4	事業内容のマンネ	り化など、施策	への貢献度が著	しく高いとはいえ	ない。	0 1	えない	● いえ	る	2. 要望簡	箇所は新た			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で数	頁似・重複し	た事務事業がる	存在する。	ਂ ਰ	る	しな	い	るため、 [、] ます。	マンネリ化	まないと	と思い「	0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期待	できない。		0 7	きない	● でき	る					0	できない	•	できる
C		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣ってい	ると思う。		O B	標に比	べて劣ってし	いる		への対応 tすが、その			0	目標に比り	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上がっ	ていないと思		O ъ	まり上か	「っていない		な箇所は	数多くあり	、これら	らの必	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成して	いると思う。		概	祝達成	している			握し、目標 があります		"∙判定	•	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成し	ていると思う。	,	0 +	分達成	している						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	N _o			〇高	高い	⑥ 適当	á		ど供用者だはコストが			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制度	を活用できる。	,	0 7		● でき	ない	なる箇所	もあります	。しかし	なが	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手段	等を見直す余り	<u></u> 也がある。	O &	5る	● ない			こかかわる ナで判断し			0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	よどによりコ	スト削減の余均	 也がある。	O &	5る	● ない		あります。				0	ある	•	ない
					一次記	平価				*		<u>'</u>	_;	欠評価					
	評値	ま 占	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	Ų	必要性	1	剪効性	達成度	Ę	効率性	ŧ	総	合評	-価
			4	4	3	4	Α			4		4	3		4			Α	
		後の	○拡大・充			方法改善	〇 民間委託	任等	Ö	拡大・充		● 現状			法改善		<u>○ 民間</u>	委	[等
A	万川	9性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定)廃止/休止			0	111111111111111111111111111111111111111		統合/終			止/休		2 12 12 1		
C		_	要望笛祈へ(の対応のみで	けかく 毎年Ω	月に教育委員会	≥ DTΔ	たどと宝	. —		<u>二次</u>	評価での	指摘事項	及ひ-	一次評	曲と	の相違点	1	
ACTIO		題		学路の合同点	検」により現	伏の危険個所 を			更				通行でき						
Ň		草案 ミ行 画	道路の利用 ² 指標を作成し、			による危険度 <i>の</i> - 。	変化などから	必要度の	4.4	≧備寺は必 業業推進を			業です。引	Iさ続き 	晉祭寺	の関	1徐機関と	建携	し〔週止
		会事項																	

	No. 28 —	4 基本事務事	業名 市.	単独事業(市道維持	•局部改良)	事務	事業名	市単	独事業(市道	道維持・	▪局部改良	公的関	与 4	シート	作成日	令和6年	F6月6日
	部局名		建設部	FI .		課名	建	没課		主務課	長名		大石 憲言]	シート	作成者名	田	上 義彦
	事業区分	○ 1 ソフト	事業		3 経常	常的事務事	事業 (○ 5 ¾	甫助会	è·負担金	・支援	中 和	美運営方法		1 直営		□ 3 3	全部委託
	事未区方	② 2 ハード	事業	С	4 施記	役の維持領	管理(067	内部管	管理事務•	その作	也	建呂刀法		2 一部	委託	□ 4 1	補助等
		基本構想(政	(策) 5.	. 明日への	の基盤が	が整った阿]波			実施計画	画			3	事業の	開始∙終了	7	
	総合計画	基本計画(施	策)(2	2)道路・4	公共交通	風の充実			0	1 該当		令和	口 左	E ~	令和	年	☑期間	間設定なし
		主要施策	(3	3)市道及	び橋梁の	の整備・維	推持管理		0	2 非該当		根	拠法令等	道路	法			
		対象(誰を、 何を)	市道															
	事業の 対象・目的	目的(どうい	最終的	りしまり便和	きょうしゅう かったい かっかい かっかい かっかい かっかい かいかい かいかい かいかい	適・安全な	生活道路	らま おうしゅう かいこう かいしゅう しゅう しゅう かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	に提	供すること	が目的	りです。						
PL		う状態にし たいのか)	今年度	市民より	り要望され	れている箇	i所、舗装	等の老	朽箇	所の工事を	行いる	ます。						
A		具体的にどの	のような	活動を行	iいます;	か。(主な	もの5つ	まで)										
N		① 測量設計																
	事業の	② 用地交涉	<u></u>															
	活動内容	③ 土地分筆	登記															
		④ 工事発注	▪監督															
		5																
			各	計算式	【又は指	漂設定理由	単位			令和	4 年	F度	令和 5	年度		令和 6	年度	最終目標
	数値目標	要望箇所施	丁宝结	施工領		テ中含む)/	/		標			100%			00%		1009	6
	(事業の目的	女王回///池	工人根		要望箇	<u>所</u> _			績	1	2/45=	=26%	12,	/35 = 3	4%			
	及び活動内								標									
	容の達成度 を測る指標)								績									
	で例の相保)								標_									
				Ш.,	· ·				績				1.11 = 5 1 =				1.17 = 6 1 =	
	予算費目	会 計			般会計	<u></u>			土木				2 道路橋			目 3		設改良費
				<u>令和</u>	4	年度決算			5	年度決算		令和	6 :	年度予			備考	
		国庫支出				千日					千円				千円			
		県 支 出	金			千F					千円				千円			
	直接事業費	地方	債			65,000 千F				82,500 =			0	4,100	_			
DO		その他特定則			1.0	千月					千円				千円			
U		一般財	源			29,948 千F				114,578 =				6,993				
		計(A) 正職員工数·A	汉弗	3,000 人		<mark>94,948</mark> 千月 18,127 千月		00 人		197,078 ⁻		3.000		1,093 7.858				
	人件費(B)	上 城 貝 上 级 · 和 会計年度任用職員		3.000 人	, [10,12/	3.00	10 人		18,179		3.000	人 1	7,808	TH			
		会計年度任用職員工数		人		0 千F		人		0 =	£ m		Λ .	0	千円			
		<u>└────────────────────────────────────</u>	人。江风			13 075 ±	_			215 257 <i>=</i>				8 951				

			チェック項目		一次	評価	一次評	評価の説	明	_	次評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	少な	:[1	● 大きい	1.道路法第16条(市 線の存する市町村た 者である市が実施主	が行う。)により	り、道路管理	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない		ある	2.4mに改良された。 車の出入り等に支踵	道路でなけれ	ば緊急自動	○ ない	⊙
	女性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<u></u>		● ない	必要があります。した には緊急性が低いも	かしながら、要	要望箇所の中	○ ある	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	いる		● いない				いる	● いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	O いえ	ない	● いえる	1.適切な工法を 2.事業毎に所在			○ いえな	ハ ◎ いえる
	有効	2. =	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ <i>い</i> え	ない	● いえる	内容のマンネリ 3.ないです。	化はありま	ぜん。	○ いえな	ハ ◎ いえる
CH	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する		● しない	4.道路網の整備 上します。	によって和	削便性は向	○ する	● しない
E		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○でき	ない	● できる	1 00,			○ できな!	ハ ● できる
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標	に比べ	で劣っている	要望箇所を検した箇所につい			○ 目標に	比べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あま!)上が ⁻	っていない	着手できている	るので、E		○ あまり上	:がっていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	概ね	達成し	している	成できています	す。		● 概ね達	成している
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	〇 +分	·達成	している				○ 十分達	成している
		1.	効果に比べてコストが高い。	○高い	•	◎ 適当	1.交通量が少なく、効果 なってしまう場合もありま 2.国・県のノウハウを活	ます。		○ 高い	適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ でき	3	◎ できない	行っていきます。 3.現在は適切だと感じま	すが、予算額の		○ できる	● できない
	率性	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<u></u>		● ない	見直す余地はあります。 4.入札などによって、適 す。		きを行っていま	<u></u>	● ない
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<u></u>		● ない				<u></u>	● ない
			一次評価					二次評	評価		
	評値	三点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価	业			達成度	効率性	生	総合評価
	△ %	多の しんしん	4	·····································	0	_ 4 拡大∙充実	4 ┃	<u>3</u> ∳ ○	<u> 4 </u> 方法改善		A 品間委託等
		句性		L #		縮小	統合/終期設	_	廃止/休		加女叩子
C	,,,					111 0	評価での指摘				
T-0			「安全・安心」な道路を適正に管理するため、施工箇所の抽出において、 数や他の指標(B/C(費用便益比)、現道の擁壁の危険判定等)をより活 ようにします。	用できる	市民	生活の安全・	安心の確保、ま	た道路機	能の維持	を図るため	 には、市道の改 [:] 細な把握に努
N		革案 実行 画	現状以上に効率的、効果的な道路改良や維持修繕を行うため、整備方 をより積極的に進めていきます。	法の検討			エ事は必要が 保を図り、効果				
		員会 事項									

	No. 28 —	5 基本事務事業名	地方道路	各交化	十 金事業	事	:	生名 中		道改良工	事公的	り関与 4 シ	 /一ト作成日	令和6年	6月6日
	部局名		设部	д 🗸 г.	課名	_	建設課		主務課長		大石		<u></u>		日佳和
		○ 1 ソフト事業		0;	3 経常的事務			-	金·負担金·支	垺		V 1 ī	直営		部委託
	事業区分	● 2 ハード事			4 施設の維持				管理事務・その		業運営ス		 一部委託	_	助等
		基本構想(政策)			7-17				実施計画	,,,,			美の開始・終		,,,,,
	総合計画	基本計画(施策)					1	O	1 該当	令	·和		3和 年		設定なし
		主要施策			橋梁の整備・				2 非該当		视法令				
		対象(誰を、 何を)	· 古者、自転	車の通	通行の安全を 図	図ります	0					•			
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最う状態にし	終的 中央	東西紀	線久勝地区、何	尹沢地區	区の全糸	泉開通を	目標にします。						
P			年度 久勝	∳地区、	、伊沢地区の日	自歩道。	收良工事	事を行い	、着実に工事延	伸を目指	心ます。				
A		具体的にどのよ		を行い	ますか。(主	なもの	5つまで	で)							
N		① 自歩道の整備													
	事業の	② 排水施設の整													
	活動内容	③照明施設の塾	と備												
		4													
		5	=1.6	~ _		n 1			△ 10 4	左曲			△ 1	<i>-</i> -	
		指標名			は指標設定理		単位		令和 4	<u>年度</u> 95	令和	」 5 年度 97	令和 6	<u>年度</u> 98	最終目標
	数値目標	事業計画消化	率 一	₹池	区間/施工予算 間	EK	%	<u>目標</u> 実績		95		97	-	98	
	(事業の目的 及び活動内				161	_		 大順_ 目標		30		91			
	容の達成度														
	を測る指標)							<u>- 入帳</u> 目標							
	予算費目	会計					款	8 土 2	<u>, </u>	項	2 道	・ 路橋りょう費	目 4	地方道	修備事業費
			令和	4	年度決	算	令和	5	年度決算	令和	6	年度予算		備考	
		国庫支出金			11,458	千円			2,354 千円			7,574 千円]		
		県 支 出 金				千円			千円			千円	1		
	直接事業費	地 方 債				千円			1,900 千円			3,900 千円	_		
D		その他特定財源				千円			千円			千円	4		
0		<u> </u>	į		22,939				2,478 千円			8,905 千円	_		
		計(A)	0.700		34,397				6,732 千円	0.700		20,379 千円			
	し (井 津 (ラ)	正職員工数·経費	0.500	人	3,021	千円 (0.500	人	3,030 千円	0.500	人	2,976 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員職種		ı		- m		1	0		1	0			
		会計年度任用職員工数·経費		人		千円		人	0.762 壬四		人	0 千円	_		
	王仲争	<u>業費(A+B)</u>			37,418	十円			9,762 千円			23,355 千円	1 [

				チェック項目					— }	欠評值	<u> </u>	_	-次評価(の説り	明		二次	評価	ī
		1.	市が実施しなくても、主体があり、事業を原					0	少ない	0	大きい	歩行者、	は通学路と 自転車の			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、	次年度以降実	態で	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある	められて	います。			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向上のため	に、現在の手段	と、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない					0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズの低下がみ上回るサービスとなっ		[隣自	治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	0	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現するた	めに、事業内容	『が必	ずしも適切とロ	まいえない 。	0	いえない	•	いえる		设置による 元車、歩行			0	いえない	•	いえる
	有効	2. 4	事業内容のマンネリ化など、	施策への貢献度	が著し	く高いとはいえ	ない。	0	いえない	•	いえる	に有効で		ц.,		0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する施策の中	中で類似・重複	した	:事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない					0	する	•	しない
Ë		4.	事業の継続をしても原	成果の向上が期	得で	きない。		0	できない	•	できる					0	できない	•	できる
CHECK		1.	目標設定に対して進掘	歩状況が劣って	いる	と思う。		0	目標によ	とべて多	らっている		引について 。用地取行			0	目標に比り	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対して成り	果があまり上か	うて	いないと思う	<u> </u>	0	あまり上っ	がってし	ない		き整備を進			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対して概ね	a目標を達成し	てい	ると思う。		•	概ね達原	붗してに	る					•	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対して十分	分に目標を達成	えして	いると思う。		0	十分達用	戊してに	る					0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べてコストが	が高い。				0	高い	0	適当	通学路と	して効率」	良く活	用できま	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体のノウィ	ハウや新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できない					0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と成果の関	関係で、実施手	段等	を見直す余均	也がある。	0	ある	0	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約方法の変	変更などにより	リコス	ト削減の余均	也がある。	0	ある	0	ない					0	ある	0	ない
					次評									次評					
	評値	点面	必要性 有効 4 4	性 達成原	更		総合評	価		必要 4	性	<u>有効性</u> 4	達成/	芰	<u> </u>	生	総	合評 A	価
		を の		現状維持	0	方法改善	〇 民間委託	毛等	С	•	大・充実	● 現1		0	方法改善	售	○ 民間		光等
A	方向	句性_	○ 縮小 ○ 統合	合/終期設定	0	廃止/休止)縮/					廃止/休				
ACTIO		面の	久勝地区では約97%、 と僅かで全線開通する。 物件移転を早期に進め	。用地困難箇所	fを再				道 沿 全	安心	は、幼小で を図るた	大評価での 中高の学校 めの自歩道	や公民館 直整備は必	等の会	公共施設だ可欠です	があり 。現	リ、利用さ 在、用地耳	れる 収得 <i>が</i>	が得られ
N	وع	革案 【行 ·画	事業計画を着実に推進	します。					の	難航り	さ、家屋袖	は概ね整備 捕償等多額 用対効果の	の予算が	必要。	となる箇別	fもあ	ることから	_{み、円} う、今	i ^{地 以 付} 後の事
		会 i事項																	

	No. <mark>28 —</mark>	6 基本事務事	業名 適丁	Eな土地和	引用の推進事	務事	務事業名	開発	終許可等事 務	务		公的関与	4 5	ンート作成日	令和6年	6月6日
	部局名		建設部		課名		建設課		主務課長	名	大	石 憲司	シ	一卜作成者名	大久	.保 武杜
	事業区分	1 ソフト 1 ソフト	事業	0	3 経常的事務	事業	<u> </u>	補助st	む・負担金・	支援	中希温	営方法	✓ 1 [直営	□ 3 全	≧部委託
	事未区方	O 2 /\-F	事業	0	4 施設の維持	管理	0 6	内部管	き理事務・そ	の他	争未迟	呂刀法	2 -	一部委託	□ 4 有	助等
		基本構想(政	<mark>:策)</mark> 5. 「	明日への	基盤が整った	阿波			実施計画				<u>事</u> 事	業の開始・終了	•	
	総合計画	基本計画(施			土地利用の推	推進		O	1 該当		令和	年	~ ←	令和 <mark>年</mark>	☑期間	設定なし
		主要施策	(1)	土地利用	月の総合調整			0	2 非該当		根拠	法令等	国土利用	用計画法等		
		対象(誰を、 何を)	開発行為	aをしようと	する者											
		目的(どういう状態にし	最終的	適切な土	地利用の制限で	を行い、	良好な住	環境0	D整備を指導	します	0					
P L		たいのか)	今年度	適切な土	地利用の制限を	を行い、	良好な住	環境0	D整備を指導	します	0					
A					いますか。(主な	なもの	5つまで)									
N				行います。												
	事業の				する条例(H17											
	活動内容		建築基準	法、消防法	去、景観法、都市	5計画:	去、その他	関係法	ま令との調整:	を行い	適切な指	(導を行い	ます。			
		4														
		5														
		指標名	3	計算式又	スは指標設定理	曲 1	単位		令和 4	年月		令和 5	年度	令和 6	年度	最終目標
	数値目標	開発行為の指示 (数値目標設定な		申請書届	出による			1標								
	(事業の目的	(数胆日保設化な	<u>()</u>				3	実績			1		- 3	3		
	及び活動内 容の達成度							1標								
	を測る指標)							<u> </u>								
								<u>目標</u> 実績						_		
	予算費目	会 計			会計			_{天限} 土オ	<u> </u> - 弗		項 1	土木管理	田弗	目 1	土木総	次弗
	了开具口	五 미	수	_	五 町 1 年度決算	笛 4	<u> </u>	5	<u>►貝</u> 年度決算	수			±貝 度予算		備考	力貝
		国庫支出		<u>1H</u>		千円	I) TH		<u> </u>		I TH	-	及] 并 千円	9	ν ω '' J	
		<u> </u>	金	_		千円			<u> </u>				千円			
		<u>// // // // // // // // // // // // // </u>	債			千円			千円	_			千円	_		
D	直接事業費	その他特定則		-	=	千円			千円	9			千円	9		
0		一般財	源	_	-	千円			千円	9			248 千円	<u> </u>		
		計(A)			0 =	千円			0	9			<mark>248</mark> 千円	可		
		正職員工数·約	径費 0.	.750 人	4,532	千円 (0.750 人		4,545 千円	g 0.	.750 人	4,	<mark>464</mark> 千円	9		
	人件費(B)	会計年度任用職員	職種					-								
		会計年度任用職員工数	女·経費	人	0 =	千円	人		0 ∓P	9	人		0 千円	9		
	全体事業	業費(A+B)			4.532	千円			4.545 千円	9		4	<mark>712</mark> 千円	9		

														1							
						ック項目					<u>一次</u>	<u>評価</u>			·次評価の		_		二次	評価	
		1.	市が実施した主体があり、					確保できる等 響は大きくな		〇 少	はい	● 大き	÷۱۱	施に関する		います	が、事業	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	忍められない。	しない	١	ある		者本人の意 業進捗の料	意識によっ 伏況が左右			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の同	向上のため	に、現	見在の手段	、方	法等の改善の余	余地がある。	O ಹಕ	5	ない	١	市内の建築				0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				隣自	治体と比較し	ノてニーズを	○ wa	5	● いな	:L\	規制するも			Z-101 PX	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を調	実現するた	めに、	事業内容	が必	ずしも適切とは	まいえない 。	O 17	ない	いえ	.a	現在及び料適な環境の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ・・			0	いえない	•	いえる
	有効	2. 4	事業内容のマンネ	ネリ化など、	施策~	への貢献度	が著し	く高いとはいえ	ない。	いえ	ない	いえ	.a	し、手続き 行われる	等の前に強	建築等	の行為が	0	いえない	•	いえる
CH	性	3.	市が実施する	る施策の中	で類	似・重複	した	事務事業が存	存在する。	する	; >	しな	い	より規制が	いかいらず、 しまうことが	指導	による調	0	する	•	しない
Ε		4.	事業の継続を	としても成	果の	向上が期	待で	きない。		○でき	ない	◎ でき	3	走となりて	U4 7CC	7.00.5	Ф У 0	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	状況	が劣って	いる	と思う。		〇目相	票に比り	べて劣ってし	いる	適正かつ ます。	迅速に審	査事:	務を行い	0	目標に比り	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果	があ	まり上か	うて	いないと思う	5.	○ あま	り上が	っていない		۵ 9 。				0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標	を達成し	てい	ると思う。		● 概ね	達成	している						•	概ね達成	している	3
		4.	目標設定に対	対して十分	に目	標を達成	して	いると思う。		O +5	}達成	している						0	十分達成	してい	
		1.	効果に比べて	てコストか	高い	0				(高(,١	● 適当	当	他部局・閉	関係機関と	_の連	携を行	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハ	ウや	新たな制	度を	活用できる。		○ でき	きる	◎ でき	ない	申請者が	行う申請 必要な経			0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関	係で	、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	O ಹಕ	5	● ない	١	ります。	必安は社:	貝 ハ、「	司供には	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変	更な	どにより	コス	ト削減の余地	也がある。	් ක්ෂ	5	● ない	١					0	ある	•	ない
							次評 [·]	価			1				:	次評	価				
	評価	Ħ }	必要性	有効性	ŧ	達成原	ΛΉΓ	効率性	総合評	価	ý.	必要性	1	与効性	達成原	臣	効率性	生	総	合評	価
	計川	ш <i>т</i>	4	4		3		4	A			4		4	3		4			Α	
		後の	○ 拡大·充	[美 ●	現状	維持	0	方法改善	〇 民間委託	£等	0	拡大·充	医実	● 現状	计維持	0	方法改善	小]委言	£等
A	方向	9性	○ 縮小	○ 統合	/終	期設定	0.	廃止/休止			0	縮小	0	統合/終	期設定	0	廃止/休	止			
C													二次	評価での	指摘事项	夏及び	ゾー次評	価と	の相違点	į	
) 0	当武課		土地利用計画 扱い要領(手					≦事の確認区均	域等)の策定時	には、取		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ᄷᅜ	4. 1 IIL TIL	T + + 7.4	~ <i>/-</i> ≥- ⊤=	************************************	. —	ツェ むま	办士	₩ ~ ⊥
N	_, _													な土地利用						務事:	美です 。
N	改革と実計		阿波市国土和 合性を図りま		農業扱	長興地域	整備言	十画、阿波市璒	環境基本条例等	手との整	合性 	26↑凹との) 金百	性を図りた	ょかり		双り組ん (こいさ	より 。		
		会 事項																			

	No. <mark>28 —</mark>	7 基本事務事業	業名 適正	な土地和	川用の推進事	務	事務事業	業名 国	土利用計画	推進	事務	公的	関与 1 シ	レート作成日	令和6年	6月6日
	部局名	3	建設部		課名		建設認	果	主務課:	長名		大石 憲	司シ	ート作成者名	大久	、保武杜
	事業区分	1 ソフト事	業	0	3 経常的事	<u></u> 务事業		5 補助	金·負担金·	支援	車者	美運営方	注 🗹 1	直営	□ 3 슄	È部委託
	争未区方	○ 2 ハード			4 施設の維持			6 内剖	『管理事務・		也	F. E. E. D. D.	^压 □ 2 ·	一部委託	□ 4 衬	前助等
		基本構想(政策	<mark>策)</mark> 5. F	明日への	基盤が整った	:阿波			実施計画	ij			事	業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策				推進		(1 該当		令			和 年	☑期間	設定なし
		主要施策	(1)	土地利用	の総合調整			(2 非該当		根	拠法令等	国土利 国土利	用計画法等		
		対象(誰を、 何を)	国土利用	計画法に	定める届出が	必要な	土地取	引や阿泫	皮市の全地域							
	事業の 対象・目的	目的(どうい ¹ う状態にし -	最終的	計画的か 用の明確	つ高度な土地 化を図ります。	利用を	推進する	るため、	国土利用計画	画に基	とづき農業	業振興地:	域整備計画 等	等の見直しや総合	合調整を	行い、土地利
PL			今年度	土地利用	関連計画や関	連法等	言につい	ての周先	知に努めるとと	こもに	、市条例	等の適]	Eな運用によ	り、適正な土地和	利用を推済	進します。
A		具体的にどの					5つま	で)								
N		1 国土利用記				す。										
	事業の	② 安全で安心														
	活動内容	③環境の保全				0										
		生地利用の														
		⑤ 土地の有效					*** * 1					A ==		1 A 5-	- -	
		指標名			は指標設定理		単位		令和	4 年	F.	令和	5 年度	令和 6	年度	最終目標
	数値目標	_			地域別に土地	の		目標								
	(事業の目的			有効利用	で図る。			実績								
	及び活動内 容の達成度							<u>目標</u> 実績								
	を測る指標)							 天 根 目標								
								実績								
	予算費目	会 計		一般:	会計		款	8 土			項	1 土木	管理費	目 1	土木総	<u>~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~</u>
	, ,,,,,,,,		令			算	令和	5	年度決算	Ī	令和	6	年度予算			
		国庫支出				千円				円			千 円	3	F11.5	
		県 支 出	金			千円			Ŧ	·円			千円	3		
	古拉声光弗	地方	債			千円			Ŧ	·円			千円	3		
D	直接事業費	その他特定財	源			千円			Ŧ	·円			千円	3		
0			源			千円			Ŧ	円			千円	3		
		計(A)				千円			0 ∓	_			0 千円			
		正職員工数·経		125 人	755	千円	0.125	人	757 ∓	円	0.125	人	744 千円	<u> </u>		
	人件費(B)	会計年度任用職員職										_				
		会計年度任用職員工数・	経費	人		千円		人	<u>0</u> ∓			人	0 千円	_		
	全体事業	業費(A+B)			755	千円			<mark>757</mark> ∓	·PI			744 千円	3		

				エ-	ック項目						次評個	Б	_	-次評価の	ア書氏に	18		二次	雪石	-
		1	市が実施しな			性が	確保できる質	な 他の宝梅						<u>- 次評価の</u> 計画どお						
	ν.		主体があり、	事業を廃止・	・休止して	も影	響は大きくな	ぶい。	0	少ない	0	大きい	を行うこ	とは、市全	体の	総合的		少ない	0	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	[、] 況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある	かつ計画 ー きます。	画的な土地	利用	に結びつ	0	ない	_	ある
	要性		住民満足度の向						0	ある	0	ない					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自:	治体と比較し	ンてニーズを 	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	€現するために	、事業内容	が必っ	ずしも適切とに	まいえない 。	0	いえなし	,	いえる		月計画法に 月計画を定			0	いえない	•	いえる
	有効	2. 🗄	事業内容のマンネ	り化など、施策	への貢献度が	著し	く高いとはいえ	ない。	0	いえなし	,	いえる	に従って	推進するが			0	いえない	0	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で数	頭似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない	す。				0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できなし	,	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	上べて劣	らっている		・き基本理 地域別に土			0	目標に比べ	べて劣	つている
	達	2.	目標設定に対	けして成果があ	あまり上が	って	いないと思う	5.	0	あまり上	がってい	ない	用を図り		1607	ויז נעג א	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		•	概ね達	或してい	る					•	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	けして十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成してい	る					0	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	コストが高し	, \ _o				0	高い	•	適当		に係る事務 の予算と人			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウ	か新たな制度	度を	活用できる。		0	できる	0	できない	行ってい	ることから	、今」	以上の削	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	:成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余均	也がある。	0	ある	0	ない	減は難し	いと思われ	しより	0	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより :	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
					一次	文評值	西							;	次評	価				
	評値	而占	必要性	有効性	達成度		効率性	総合評	価		必要'	性	有効性	達成原	吏	効率性	生	総	合評	描
			4	4	3	<u>_</u>	<u>4</u>	A	- kk		4		4	3		4			<u>A</u>	
		多の 句性	○ 拡大·充○ 縮小	実			<u>方法改善</u> 廃止/休止	〇 民間委託	<u>t寺</u> ——		<u>) 払フ</u>) 縮り	<u>大・充実</u> ト (<u></u>			<u>方法改</u> 籍 廃止/休		<u>○</u> 民間	13金	<u> </u>
A	731	-) IT	○ 地田小1,		为以足	<u> </u>	光止/ 小止						欠評価での					の相違占	ī	
ACTIO			計画の推進に 民や事業者、						ます。		 土利用		基づき、そ							運用を
Ň	と国	と 行	関係法令など 画を基本として などにより計画	C 、土地利用 σ)計画的な訂	十画及 周整を	 及び本計画な を行います。ま	ど土地利用に た、市のホー.	関する ムペ-	ו וויי	ってい	きます。						·		
		員会 i事項																		

	No. 28 —	8 基本事務事	業名 広域班	環境処理が	 拖設周辺対策事業	事務事業	業名 道路	格改良舗装事業	<u></u>	公的関与	4 シ	一卜作成日	令和6年	6月6日
	部局名		建設部		課名	建設調	里	主務課長名	3	大石 憲司	シー	-ト作成者名	田」	L 義彦
	+ *	1 ソフト事	事業	0	3 経常的事務事	業	5 補助3	金•負担金•支	垤	Mr 사무 24 1- 1-	☑ 1 直	営	□ 3 全	部委託
	事業区分	② 2 ハード	事業		4 施設の維持管		•	管理事務・そ <i>σ</i>		業運営方法	<u> </u>	·部委託		助等
		基本構想(政	策) 5. 明		基盤が整った阿			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	策)(2)	直路∙公	共交通の充実		O	1 該当	令	和年	~ 令	和年	☑期間	設定なし
		主要施策	(3)	市道及で	バ橋梁の整備・維	持管理	0	2 非該当	柜	视法令等	一般廃棄物	勿中間処理施設	対策基金領	於例、道路法
		対象(誰を、 何を)	広域環境	処理施設	比周辺対策対象地 域	或								
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	広域環境	処理施設周辺の市	5道改良等	の事業を	実施します。						
P L		1	今年度	引き続き	、施設周辺道路の	改良等を行	テいます。							
A			ような活	動を行し	ハますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 測量設計												
	事業の	② 用地交渉		登記										
	活動内容	③ 工事発注	▪監督											
		4												
		5												
		指標名	3	計算式	又は指標設定理由	単位		令和 4	年度	令和 5	年度	令和 6	年度	最終目標
	数値目標	施工箇所進持	步状況	施工箇	所進捗度(平均)		目標	-	100%		100%		100%	
	(事業の目的						実績		85%		85%			
	及び活動内 容の達成度						目標					_		
	を測る指標)						実績 目標							
							実績							
	予算費目	会計	I	— 鉙	会計	款	8 土才	<u>.</u> 5 春	項	2 道路橋	 Jょう費	目 6	周辺対領	高工業費
	7 77 17 17	д ш	令 ?		4 年度決算	令和	5	年度決算	令和		度予算	П	備考	八子术兵
		国庫支出			千円			千円	1- 1-		千円		P(13 3	
		県支出	金		千円			千円			千円			
	本拉市柴弗	 地 方	債		20,500 千円			千円			千円			
D	直接事業費	その他特定則	才源		34,029 千円			18,150 千円		46,	800 千円			
0		一 般 財	源		千円			千円			千円			
		計(A)			54,529 千円			18,150 千円			800 千円			
		正職員工数·約	圣費 2.5	00 人	15,106 千円	2.500	人	15,149 千円	2.500	人 14,	<mark>881</mark> 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員	職種											
		会計年度任用職員工数	·経費	人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円			
	全体事業	業費(A+B)			69,635 千円			33,299 千円		61,	<mark>681</mark> 千円			

					ック項目			-	<u>一次評</u>	価		−次評価の			二次	評価	
		1.				tが確保できる等 ら影響は大きくな		○ 少な	ι (大きい	一環とし	て道路整備	周辺対策の fや公園整備	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	F度以降実施	地する緊急性が認	忍められない。	○ ない	(ある			要望を精査 ・箇所から順	0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の向	句上のために、	現在の手段、	方法等の改善の余	<u></u> 余地がある。	<u></u>	0	ない			・固別から順 、必要性が	0	ある	0	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		4自治体と比較し	ノてニーズを	O 1/3	0	いない	認められ	ます。		0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容が	「必ずしも適切とに	はいえない。	O いえ	ない	いえる			って、幅員4r や排水路整	n O	いえない	•	いえる
		2. 4	事業内容のマンネ	ネリ化など、施策	への貢献度が	著しく高いとはいえ	ない。	いえが	ない	いえる	備が出来	そていない食	箇所があり、	0	いえない	0	いえる
CH	効性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頃似・重複し	た事務事業が存	存在する。	○ する	(しない	周辺地域	ぬの道路環	こいくことは、 境の向上に	0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期待	きできない。		○ できた	ない	できる	有効です	0		0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣ってし	いると思う。		〇目標	に比べて	劣っている			こついて、概 いますが、用	0	目標に比り	、て劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上がっ	ていないと思う	5 .	○ あまり)上がって	いない	地や補償	質の問題な	どにより、事	0	あまり上が	っていた	はい
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成して	こいると思う。		概ね:	達成して	いる	業化でき	ない場合も	あります。	•	概ね達成	している	ś
		4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成し	ていると思う。		〇十分	達成して	いる				0	十分達成	している	3
		1.	効果に比べて	てコストが高い	,١,			○ 高い		適当			適正なコスト		高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	か新たな制度	度を活用できる。		○ できる	3 C	できない	の関係機	機関や民間	などのノウハ		できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	上成果の関係で	で、実施手段	段等を見直す余地	しがある。	ර	(ない		できる場面 っていきま	iもあり、随時 す。	O	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	ょどにより=	コスト削減の余地	 也がある。	<u></u>	(ない				0	 ある	0	ない
					一次	評価					_	二	欠評価				
	評価	計	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	必要	性	有効性	達成度	対率	性	総	合評	価
			<u>4</u>	<u> </u>	3	4 	A	T 1/4	<u>4</u>		4	3	<u>4</u>	_		<u>A</u>	r /r/r
		後の 句性	○ 拡大・充	E実		○ 方法改善 ○ 廃止/休止	〇 民間委託	t寺 ———	○拡	大·充実 小 (○ 方法改○ 廃止/f		<u>○ 民間</u>]安計	;寺 ———
AC	731	-) IX				直路改良、排水路	改良等を行っ	てきまし	<u> </u>				○ 廃血/ 1		の相違と	i .	
ان T	ᅶᇛ		たが、周辺対	策事業が終盤	に差し掛かる	る現在において「多	を付税算入」が	なくなり、		<u> </u>		7]日]向事を		ТЩС	ひかった	3	
	課	田石				こなっております。											
0	□ Λ			・精査し、現在 めていく必要が		る箇所の効果や	進捗度合いを						盤を迎えてお				
Ň	みき						5000 東 業を生						[は、要望箇		情査を行い	なが	う周辺地
						パー、プ仮℧安主闘 、事業効果を高め			戦の将	米を兄店	えに 遺止な	事果の執行	rを進めます	0			
	計			よう努めてまい													
	委員	会 事項															

	No. <mark>28 —</mark>	9 基本事務事	業名	火葬場	易周辺対	対策事業	事	務事業	業名	道路	改良	丰業	公的	関与 4	シー	-卜作成日	수	う和6年	6月6日	
	部局名		建設部	3		課名		建設調	果	主務詞	果長名		大石 ء	憲司	シー	卜作成者:	名	田」	上 義彦	
	事業区分	○ 1 ソフト	事業		3 経	常的事	务事業	0	5 補助	力金・負担金	҈∙支持	爰 由 :	業運営方	-:+	1 直	営		□ 3 全	部委託	
	事未区方	② 2 ハード	事業) 4 施	設の維持	寺管理	0	6 内部	8管理事務	・その	他	未理呂方		2 —	邹委託		4 補	助等	
		基本構想(政	策)5.	明日へ	の基盤	が整った	:阿波			実施計	·画				事業の)開始∙終	了			
	総合計画	基本計画(施	策)(2)道路•:	公共交	通の充実			(1 該当		令	和	年 ~	令利] :	Ŧ [<mark>ᆀ期間</mark>	設定なし	
		主要施策	(3		なび橋梁	2の整備	•維持領	<u></u> 管理	(2 非該当	当	根	拠法令	等 道路	各法					
		対象(誰を、 何を)	事業対象	象地域																
		目的(どうい う状態にし	最終的	事業対	象地域	の道路改	良等を	実施しる	ます。											
P L		たいのか)	今年度	道路改	良工事	等を行い	ます。													
A		具体的にどの	りような	活動を行	テいます	か。(主	なもの	5つま	で)											
N		1 測量設計	業務																	
	事業の	② 公共嘱託	登記業	務																
	活動内容	③ 工事発注	•監督																	
		4																		
		<u>(5)</u>																		
		指標名		計算式	式又は指	i 標設定理	曲	単位		令和	4 4	丰度	令和	5 年月	支	令和	6 年	F度	最終目標	票
	数値目標	その他要望箇所	功良 丁重驾			進行状況			目標			100%			100%			100%		
	(事業の目的		ДД — 7 -	<u> </u>	(進行中	含む)			実績			100%			100%					
	及び活動内								目標											
	容の達成度 を測る指標)								実績											
	で別の拍标)								目標											_
									実績				1				=			_
	予算費目	会 計			般会計			款		<u> 木費</u>		項		格橋りょう		目			事業費	_
				<u>和</u>	4	年度決		令和	5	年度決		令和	6	年度予				備考		
		国庫支出					千円				千円				千円					
		県 支 出	金				千円				千円				千円					
	直接事業費	地 方	債	_		9,400				9,300				9,500	_					
D		その他特定則				56					千円				千円					
0		一般財	源				千円				千円				千円					
		計(A)	₽ # 0	. 500		9,456		0.500			千円	0.500		9,500	_					
		正職員工数·約).500 人		3,021	十円	0.500	人 <u> </u>	3,030	十円	0.500	人	2,976	十円					
	人件費(B)	会計年度任用職員会計年度任用職員工数				0	7 FF				7 m				- m					
		^{芸計年度任用職員⊥貿} と 書(Δ + R)	X·社員	<u>_</u>	<u> </u>	12 477	千円		人	12 413	千円 千田		人	12 476	千円					

				-	チェック項	5日				一次	亚価 (_	·次評価の) 重英 BE			二次	証価	
		1.	市が実施した				「確保できる等	等、他の実施	少な					辺地域の			$\overline{}$	少ない		大きい
	ι,		<u>主体があり、</u>	事業を廃.	止・休止	しても影	/響は大きくな	ない。	<u> </u>	10,	● 大き	۲,		、要望箇所				グない	0	大さい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、	次年度以	降実施す	る緊急性が認	忍められない。	○ ない	١	ある			ハ箇所を含 強く求めら			0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の向	句上のために	こ、現在の	手段、方	法等の改善の	余地がある。	○ ある		● ない		727 77 70	7X (1)(0)	4000	, o, , ,	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーヒ			、近隣自	治体と比較し	してニーズを	いる		● いな	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するため	かに、事業	内容が必	ずしも適切とに	はいえない。	O いえ	ない	● いえる	る		辺地域の 、要望箇所			0	いえない	0	いえる
		2. 🖣	事業内容のマンネ	れり化など、 <u>が</u>	施策への貢	献度が著し	く高いとはいえ	ない。	○ <i>い</i> え	ない	いえ	3	きていなし	ハ箇所を含	·め、	迷続し	0	いえない	0	いえる
	効 性	3.	市が実施する	る施策の中	で類似・	重複した	事務事業が存	字在する。	○ する		しな!	い	た争業か	強く求めら	れて	います。	0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	としても成	果の向上	が期待で	きない。		○ でき	ない	◎ できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進捗	状況が劣	っている	と思う。		〇 目標	に比べ	て劣ってい	る		会の要望を基づき整備			0	目標に比べ	「て劣·	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果:	があまり	上がって	いないと思う	5 。	○ あま!	り上がっ	ていない		う n 回 に	坐 ノC 走 岬	10 C		0	あまり上がっ	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね	目標を達	成してし	いると思う。		概ね	達成し	ている						•	概ね達成し	っている	3
		4.	目標設定に対	付して十分	に目標を	達成して	いると思う。		〇 十分	達成し	ている						0	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	(コストが	高い。				○高い	١	適当	á		より、適正 ていますが			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハ	ウや新た	な制度を	活用できる。		○ でき	る	● でき	ない	ハウを活	用できる場	面もa	あり、随	0	できる	0	できない
	率 性	3.	予算・人員と	成果の関	係で、実	施手段等	₹を見直す余₺	也がある。	<u></u>		● ない		時使訶を	行っていき	ます 。		0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変	更などに	よりコス	、ト削減の余±	也がある。	<u></u>		● ない						0	ある	•	ない
						一次評	価							二岁	欠評值	<u> </u>		·		
	評個	三点	必要性	有効性	達	成度	効率性	総合評	価	必	要性	1	勃性	達成度		効率性	ŧ	総	合評	価
	今後				<u> </u> 現状維持	3	4 方法改善	A ○ 民間委託	·····································	0 :	<u>4</u> 拡大・充	生	4 ● 現状	3 ÷維性		4_ 5法改善	<u>-</u>		A 表記	华
		り性			死权框的 /終期設:		<u> </u>	〇 民间安市	L 1		縮小		<u>〔 </u>			<u> </u>	_	U ILIE	<u>」女巾</u>	L 11
AC			- 112	•		•								指摘事項				の相違点	į	
	当译	IJ Uノ						ましたが、周辺 かにも、効果的、									-			
Ţ	課	題						る必要がありる		年 庄	文 笛 ± 阳	にわっ	アハスート	から整備圏	が正た	世記!	上门六	油用的 为	h 茲 6/	1/: 車 娄
0 N	74 +	+ +								実施	を図るこ			から 金属 ほうそ は						
.,	改すと実	[案			ので、要	望箇所を	事業化する際	に地元協議会	と連携し	努め	ます。									
	計		て整備に努め	ます。						l										

部局名 建設部 課名 建設課 主務課長名 大石 事業区分 〇 1 ソフト事業 〇 3 経常的事務事業 〇 5 補助金・負担金・支援 事業運営 〇 2 ハード事業 ⑥ 4 施設の維持管理 〇 6 内部管理事務・その他 事業運営 基本構想(政策) 5. 明日への基盤が整った阿波 実施計画 総合計画 基本計画(施策) (2)道路・公共交通の充実 ⑥ 1 該当 令和								公的関与	4 シー	−ト作成日	令和6年	6月6日		
	部局名		建設部		課名	建設詞	果	主務課長	各	大石 憲司	シー	卜作成者名	島日	日 佳和
	市米 豆八	○ 1 ソフト事	業	0	3 経常的事務事	業	5 補助3		垤	₩᠈፰╩┪╸᠈┸	☑ 1直	営	□ 3 全	部委託
	争兼区分	O 2 /\-\F	事業							美 連呂万法	□ 2 -	部委託		助等
		基本構想(政策	策) 5. 5									の開始・終了		
	総合計画						O		令	和年	~ 令和		☑期間	設定なし
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					寺管理			根	拠法令等	道路法			
			阿波市が	管理する	道路橋				·					
			最終的	阿波市か	「管理する道路橋を	5年に1回の	の頻度で	定期点検を行い	、長寿命	化修繕計画∙ⅰ	耐震化計画	「に基づき、修	繕や整備	を行います。
L			今年度	阿波市が	「管理する道路橋の	3回目の定	它期点検る	を順次行います	。また、補	修工事を行い	ます。			
A		具体的にどの	ような活	動を行し	<mark>ハますか。(主なも</mark>	の5つま	で)							
N		① 橋梁の点権	倹調査を	行い、健全	全性の診断(部材単	位の健全	性の診断	f)を行います。						
	事業の	② 橋梁の補係	修工事を	行います	0									
	活動内容	3												
		4												
		5												
		指標名		計算式又	又は指標設定理由	単位		令和 4		令和 5	年度	令和 6	年度	最終目標
	数値目標	橋梁点検		占給を行	つた橋梁数	橋	目標		177		173		83	
	(事業の目的			M (X C 1)		1100	実績		177		173			
	及び活動内	 耐震化・補修調査:	设計	調查設計	トを行った橋梁数	橋	目標		2		1		2	
	容の達成度 を測る指標)			#*; <u></u>			実績		2		1			
	とはいり日本	 耐震化•補修工事		工事を行	った橋梁数	 橋	目標		3		3		0	
	2 体 # 口	A =1					実績	<u> </u>	3	o \大口女士子!	3		UL \	*# * #
	予算費目	会 計			会計	款	8 <u>土</u> オ		項	2 道路橋		目 4		<u> </u>
		园 庄 士 山		和 4	4 年度決算	令和	5	年度決算	令和		度予算		備考	
		国庫支出	金		46,842 千円			71,396 千円 千円		01,	201 千円			
		<u>宗 又 山</u> 地 方	<u></u>	-	6,200 千円			34,600 千円		25	500 千円			
D	直接事業費	<u> </u>			<u>0,200 111</u> 千円			千円		25,	千円			
O			源		42,941 千円			46,279 千円		70	208 千円			
		計(A)	<i>////</i>		95,983 千円			152,275 千円			909 千円			
		正職員工数·経	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	500 人	3,021 千円	0.500	人	3,030 千円	0.500		976 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員職			5,521	2.000	- 1		2.300	- 1	- 1 - 1			
	· (1) 3C (=)	会計年度任用職員工数·	経費	人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円			
	全体事	· 業費(A+B)			99,004 千円			155,305 千円			885 千円			

														:-						
					ック項目					<u>一次</u>	<u>評価</u>			次評価の					評価	
		1.		なくても、公 ³ 事業を廃止					少t	はい	● 大き	·l\	定期点検は握するととも	に、次回の	定期点格	食までの	O 4	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	忍められない。	○ ない	١	ある		措置の必要情報を得る	ために行う。			O to	けい	•	ある
	性			句上のために、					O ಹಕ)	ない		また、道路はも、橋梁の配				○ <i>t</i>	53	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	ンてニーズを 	いる		● いな	(1	ります。				O 1	งอ	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	まいえない 。	○ <i>い</i> え	ない.	● いえ	る	点検結果は計画により				O 1	えない	•	いえる
	有	2. 4	事業内容のマンネ	ネリ化など、施策	への貢献度	が著し	く高いとはいえ	ない。	○ <i>いえ</i>	ない.	いえ	る	させて、橋費用を抑え	の修繕・架	替えに	かかる	0 1	えない	•	いえる
CH	効性	3.	市が実施する	る施策の中で数	頁似・重複	した	事務事業が存	存在する。	○ する	•	しな	い	より、「災害・ワーク」を	詩時におけ	る道路さ	ネット	O 9	る	•	しない
Ε		4 .	事業の継続を	としても成果の	の向上が期	待で	きない。		○でき	ない	● でき	る	7-7]21	産体しより	0		0 7	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		〇目標	に比べ	べて劣ってい	る	国が定めについて				0 1	標に比り	て劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果がる	あまり上か	うて	いないと思う	5.	○ あま	り上が [.]	っていない		点検が完	了しました	こ。「橋	梁長寿	O あ	まり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	票を達成し	てい	ると思う。			達成し	している		命化修繕 画」も国の				〇概	祝達成し	ている	3
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	して	いると思う。		● +5	達成	している		ています。)			O +	分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	てコストが高し	, \ _0				〇高	١	● 適当	á	「橋梁の気に、徳島場					高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	か新たな制	度を	活用できる。		○でき	·ි්	● でき	ない	議、各自	台体の事	例を参	考にし	0	ごきる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	と成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	<u></u>	1	● ない		ながら、「i 画」を随時	持改善して	いき、		()	5る	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	也がある。	<u></u>	1	● ない		理の効率	性を高め	ます。		()	5 3	•	ない
					— ;	次評 [·]	価							=	次評価	<u> </u>				
	=च /:								価	业	必要性	4	剪效性	達成原	隻	効率性	生	総	合評	価
	計川	4 4 4 4									4		4	4		4			Α	
	今後	後の	○ 拡大・充	医実 │ ◎ 現料	犬維持	0	方法改善	〇 民間委託	£等	0	拡大·充	実	● 現状	維持	O 7	法改善	小小	〇 民間	委託	£等
A	方向	句性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定	0.	廃止/休止			0	縮小	0	統合/終	期設定	○哆	圣止/休	止			
C			阿波市が管理	する道路橋(68	 2橋)で、建	没年度	きが判明している	3386橋ついて	2030年			二次	評価での	指摘事項	真及び	一次評	<u>価と</u> の	相違点	į	
Ť	当品			た橋(建設後50																
		田石		:橋の増大が予源 及び、橋梁の「長						△ 继	マセル	1 +_t	喬梁が増加	ni 括莎	の枚丝	こか扶み	1-414	、2弗田	+ +曲・	++2-
Ō				メい、偏呆の「長 費用を抑える取り				日垤で囚り、恫り	/修備 未				^{高条が増加} 月に策定し							
Ň	ᆲ	 草案				な維			橋梁の修											
		₽ 未 足行		づく年次的な				長寿命化修綿	計画」に	す。					a11		J J.			
	計	画	基づき、計画	的に修繕・架替	え等を行り	ハます	•													
		<u>□</u> 員会								_										
		事項																		

	No. 28 —	11 基本事務事業	8 地籍調	查事業		事務事	業名	地籍	調査事業			公的関与 1	 シート作成日	令和6年	6月3日
	部局名		設部		課名	建設			主務課長名	名			/一ト作成者名		L 芳幸
		○ 1 ソフト事	集	3	経常的事務事			助金	・負担金・支	坪		1	直営		部委託
	事業区分	〇 2 ハード事			施設の維持管		_		理事務・その		₹連'	P' T- '	一部委託	+	助等
		基本構想(政策) 5. 明日						実施計画				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策						•	1 該当	4	令和		令和 年		設定なし
		主要施策	(3)地第	語調査事	事業の推進			0	2 非該当		根拠法	令等 国土調	査法		
		対象(誰を、 何を)	波市内の均	也籍調査	未実施地区の	調査									
		目的(どうい 最う状態にし	終的阿派	皮市内の	地籍調査未実	施地区の記	調査を	完了							
P L			·年度 阿派 楠。	皮市吉野 ′本の原	・町五条立花・イ 図作成、地積測	ギス、吉野 定、地籍	野町西 簿の作	条字: :成	東須賀・井ノ元	の一筆	調査及	び測量、並びに降	可波市吉野町五	条字北原	. 柳ノ本及び
A		具体的にどのよ		_			まで)								
N		① 一筆地調査													
	事業の	② 測量(地籍図	図根点、図	根多角測	川量、地籍網部立	並びに一簣	 上)							
	活動内容	③ 地積測定													
		4 地籍図原図		奪案の閲]覧										
		⑤ 法務局への		·		1 3271			A == .	<u></u>		\ 		<u></u>	
		指標名	計	算式又は	は指標設定理由	単位		1#E	<u>令和</u> 4	年度	_	5 和 5 年度	<u> </u>	年度	最終目標
	数値目標	調査筆数			146	9 筆	目			147 147	_	109 109		1469	
	(事業の目的					<u> </u>	実			147	0	109	13		
	及び活動内 容の達成度						実				+				
	を測る指標)														
							実				+				
	予算費目	会 計		一般会	· 計	款			水産業費	項	2	農地費	目 4	国土調金	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	77581	- HI	令和	4	年度決算	令和	5		年度決算	令和	6			備考	
		国庫支出金			±₽				千円	, , , , , ,		±F.		,,,,, ,	
			È		38,175 ∓₽	3			23,656 千円			千F			
	古拉声类弗	地方	責		千円	3			千円			千F			
D	直接事業費	その他特定財源	京		千円	3			千円			千F	円		
0			京		12,725 ∓₽	3			8,212 千円			39,020 ∓F	円		
		計(A)			<mark>50,900</mark> ∓₽				31,868 千円			39,020 千F			
		正職員工数·経費	麦 3.000	人	18,127 千円	3.000)人		18,179 千円	3.000	人	<mark>17,858</mark> 千月	<u> </u>		
	人件費(B)	会計年度任用職員職利													
		会計年度任用職員工数·経	費	人	0 千円		人		0 千円		人	0 ∓F			
	全体事	<u>業費(A+B)</u>			<mark>69,027</mark> 壬₽	3			50,047 千円			56,878 千F	円		

				エ -	ック項目				一次	証 価		_	·次評価 <i>0</i>	/ 플러 미	В		二次	证佣	
		1	市が実施した			生が確保できる	等 他の宝施	0					法に基づ						
		' ·				も影響は大きく		○少な	はい	● 大き	(1	実施主体	となり、地	籍調	査を実	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	F度以降実施	施する緊急性が	認められない。	○ない	١	ある			ます。阿波 、吉野町だ			0	ない	•	ある
	性					方法等の改善の		○ ಹಕ	5	● ない		であるたる	め、予算の	範囲	内で早	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自治体と比較	してニーズを	いる	5	● いな	い	期完了を	目指してい	ます	0	0	いる	0	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容が	が必ずしも適切と	はいえない。	O いえ	ない	いえる	る		・復興が遅 出来ます。:			0	いえない	0	いえる
	有	2. 4	事業内容のマンネ	り化など、施策	への貢献度が	著しく高いとはいえ	えない。	○ <i>いえ</i>	ない	いえ	3	地の適正	管理、固定	E資產	全税の公	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で数	頁似・重複 🛭	した事務事業が	存在する。	ਂ ਰਫ	,	しな!	い		つことなど ています。	、多く	の他束	0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	しても成果の	つ向上が期行	寺できない。		○ でき	ない	◎ できる	3					0	できない	0	できる
CHECK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣ってし	いると思う。		〇目標	票に比べ	べて劣ってい	·る		実施計画 事業を進め			0	目標に比り	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上がっ	っていないと思	 う。	○ あま	り上が	っていない			事業を進めれ は達成して			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成して	ていると思う。		〇 概ね	達成し	している						0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成し	していると思う。	0	○ +5	}達成	している						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,			〇高	۸,	● 適当	á		度から令和 町地区の国			0	高い	0	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウヤ	新たな制度	度を活用できる。	0	でき	5	◎ でき	ない		行います。		ተፈ ነነት	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手具	没等を見直す余:	地がある。	ර ක්ර	5	● ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより:	コスト削減の余	<u></u> 地がある。	් ක්ද	5	○ ない						0	ある	•	ない
					一次	(評価			T			•	二》	欠評	価				
	評値	無占	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	业	必要性	1	剪 効性	達成度	Ę	効率性	生	総	合評	·価
			4	4	4	<u>4</u>	A	- hh		4	<u> </u>	4	4	$\overline{\perp}$	4			<u> </u>	- hh
		後の 5世	○ 拡大·充○ 縮小			○ 方法改善	〇 民間委託	七等		拡大·充 縮小		● 現状			<u>方法改</u> 妻 家 b /#		<u>○ 民間</u>]委	t等
A	יוכ	句性_	- 115	○ 統合/終展滞むく進める		○ 廃止/休止 ていますが、円滑	いか・	進めるた	0			統合/終	期設定 指摘事項		廃止/休 <mark>ヾー カ</mark> 冠		の担告は	=	
C	자 =	- Λ	め、また筆界を	ま席なく延める も定を残さない	ためにも、	関係者の地籍調査	査への理解と協	はかるた			—火	計画での	11111111111111111111111111111111111111	(X)	八八計	<u> Ш</u> С	の作達点	<u> </u>	
	二	題	める必要があ	ります。															
ACTIO	11/1	, KZS											様々な行政						
Ň	改章	 草案				を通じて周知を行			4主 +55				推進など多 ながら計画					です。	,今後も
		に行			実施に努める	ます。また委託業	者と相互に協力	りし、事業	人	的な工具	地体	で安宝し	よから計画	ከብ/ዮ	争未推进	三一労	がまり。		
	計		の推進を図りる	ます。 															
		会																	
	指摘	事項																	